

# ヨコハマ 議会 だより

令和4年第2回市会定例会号  
発行 令和4(2022)年8月  
横浜市議会局  
〒231-0005横浜市中区本町6-50-10  
TEL 045-671-3040  
FAX 045-681-7388  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>

一般質問(5月20日)

令和4年第2回市会定例会が5月13日から6月7日まで開催されました。  
(2面及び3面に一般質問の一部を掲載しています)

## ■第1回市会臨時会の開催(6月21日)

令和4年度一般会計補正予算(第2号)を審議するため、令和4年第1回市会臨時会が開催されました。

国の制度に基づく生活困窮者への支援を実施するとともに、原油価格・物価高騰を踏まえた経済支援の実施や、ウクライナ支援にかかる事業費の補正を行いました(補正額:113億5,100万円)。

### みんなの横浜市会

～子ども向け学習動画ができました!編～  
横浜市会について学べる子ども向けの学習動画を、議員がクイズを出題しながら紹介するPR動画です。ぜひご覧ください!



## 第2回 市会定例会概要 | 5/13・6/7 | 会期26日間 |

### 主な流れ



審議の模様は、市会インターネット中継でご覧いただけます。

# 横浜の豊かな未来につないでいくために

## －「財政ビジョン特別委員会」を開催－

### 全議員構成の委員会で横浜の未来を考える

議会が果たすべき役割を明確にして市民と共有することで、より豊かで潤いのある市民生活の実現を図ることを目的として、平成26年に制定された「横浜市議会基本条例」。その第13条第1号には、議会の議決が必要な事項として「基本構想※の策定」が定められています。

※基本構想…市政の総合的かつ計画的な運営を図るために長期的な展望に立って定める構想のこと

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」(財政ビジョン)は、基本構想に相当するものとして同条例制定後初めて議決対象となりました。

令和4年第2回市会定例会では、財政ビジョンを審議するため、全議員から成る「財政ビジョン特別委員会」が設置、開催されました。

### 財政ビジョンとは?

将来にわたる安定した市政運営の「土台」となる持続的な財政を実現するため、中長期の財政方針のことです。

人口減少や災害など様々なリスクが想定されるなかでも、現在及び将来の市民へ、市の責任を果たすために策定されました。



検索



5月27日に議案の審査が行われました。

各会派を代表して9人の議員が歳出改革の取組や財源確保策などについて質疑を行いました。詳しい内容は市会ホームページをご覧ください。



委員会の概要

委員会の録画配信



瀬之間委員長より

基本構想に相当する方針を策定する委員会として初めての開催となりましたが、活発な議論ができました。市長からも熱心な答弁をいただきました。これからの財政運営や施策に生かしていくける議論になったと思います。



中山 大輔  
副委員長

瀬之間 康浩  
委員長

中島 光徳  
副委員長

今後、財政ビジョンに基づいた市政運営が行われるよう、議会の立場から積極的に議論や市の施策のチェックなどを行っていきます。

## 26件の議案が可決されました



### ●横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョンの策定

財政を土台に、持続可能な市政が進められるよう、「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」を具体化・実効化する中長期の財政方針として策定しました。

### ●令和4年度横浜市一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染拡大の抑止に向けた4回目のワクチン接種等が着実に進められるよう接種推進費を増額とともに、経済状況の変化に対応した横浜経済への緊急的な支援策にかかる事業費の補正を行いました(補正額:111億9,300万円)。

### ●横浜市交通事業の設置等に関する条例の一部改正

交通事業の経営に関し必要な事項について調査審議等を行うため、新たに附属機関として「横浜市営交通経営審議会」を設置する一部改正を行いました。

検索



# 一般質問から

5月20日本会議(第3日)において、市政全般に関する方針や事業などについて、各会派を代表して7人の議員から「一般質問」が行われました。その中から、12項目を抜粋して掲載します。

<b>【自民党】5問</b>	<b>【公明党】3問</b>
●長期財政推計を踏まえた 今後の政策展開 ●ウクライナ支援 ●緑の取組 ●魅力的な都市づくり ●これからの都市づくり	●再生可能エネルギーの普及 ●市営住宅の高齢化対策 ●旧上瀬谷通信施設のまちづくりと 国際園芸博覧会
<b>【立憲党】3問</b>	<b>【共産党】1問</b>
●待機児童対策 ●都心臨海部の地域特性を生かした まちづくり ●中学校給食	●中期4か年計画への「3つのゼロ」と みんなが食べられる温かい中学校 給食の明記

## 環境 再生可能エネルギーの普及

公明党

**問** 昨年の決算特別委員会で、再エネキャンペーンの継続的な実施や参加者・契約者の増加を見込むためには、魅力的な特典やメリットの提供が必要だと指摘し、インセンティブの導入を提案した結果、市独自のインセンティブ導入の検討を行う旨の答弁がありました。市民向け再エネキャンペーンの今後の展開についてうかがいます。

**答** 九都県市で進めている本キャンペーンは、再エネ導入による温室効果ガス削減効果や重要性を市民の皆様に広く浸透させるうえで、効果的な取組だと考えます。世界的な燃料高騰による電力市場の価格上昇により、現時点では次回の実施時期は未定ですが、再開時に向けて、参加者拡大に向けたキャンペーンの手法について市から九都県市に提案し、検討していきます。

## 政策 長期財政推計を踏まえた今後の政策展開

自民党

**問** 厳しさを増す財政状況に対応していくためには、事業や予算の徹底した見直しが重要です。しかし、財布の紐をただ固くするような見直しだけでは、外から見た横浜は厳しい状況に何とか耐えているという印象になってしまいます。厳しい財政状況でも未来の横浜に希望が持てるような政策展開を、新たな中期計画に盛り込んでいくべきと考えますが、いかがですか。

**答** 今後、生産年齢人口を確保するため、特に子育て世帯に「横浜に住みたい・住み続けたい」と思ってもらうことが大切です。そのため、子育て・教育に力を入れることはもちろん、産業振興や雇用創出、まちづくりなどに総合的に取り組むことで、人や企業を呼び込み、都市の魅力・活力を向上させるような中長期の戦略・政策を、新たな中期計画の中で検討していきます。

## 政策 中期4か年計画への「3つのゼロ」と みんなが食べられる温かい中学校給食の明記

共産党

**問** 「3つのゼロ」の公約実現には、財源はもちろん、市長の決意が必要だと考えます。そのためには今までの施策を踏襲するのではなく、市長がこれから提案することになっている、2022年から2025年までの中期4か年計画に具体的に「3つのゼロ」の施策を明示しなければ公約実現はできないと考えますが、いかがですか。

**答** 4月から府内での検討体制を整え、検討を開始したところであり、どのように進めていくべきかをしっかりと議論して、「新たな中期計画」の中に位置付けていきます。

## 国際 ウクライナ支援

自民党

**問** ロシアによるウクライナ侵略は、我が国にとっても対岸の火事ではありません。未来に向けて国を守るために、防衛、安全保障や国民保護など、憲法改正も含めて様々な議論をし、見直すべきであると考えます。377万市民の生命と財産を預かる市長も市のトップとしてしっかりと自身の考えをメッセージとして発信していくべきと考えますが、いかがですか。

**答** オデーサ市との会談の際に、トゥルハノフ市長からはウクライナの悲惨な現状をうかがいました。そして、市民の命と生活を必死に守ろうとする市長の姿勢に深い感銘を受けました。その思いを共有するとともに、あらためて、市民の皆様の安全を守るため、自らの責務を全力で全うしていく思いを強くしたところです。

## 子育て 待機児童対策

立憲党

**問** 市の令和4年4月1日現在の待機児童数は11人で、保育所等の利用申請者数は7万3538人と過去最多となりました。定員割れの施設も増えていて、既存施設の活用は大切ですが、それだけでは保育ニーズが増加している地域への対応としては限界があります。大規模なマンション開発がなくとも保育ニーズが増加している地域へは、保育所等の整備を含めて受入枠を確保していくべきと考えますが、いかがですか。

**答** 定員増や定員外での受入促進をはじめ、保育所の空きスペースを利用した年度限定保育事業など、既存保育所等の活用を進めています。そのうえで、地域の開発状況や申請者数の増加、待機・保留児童の状況などを総合的に勘案して、令和5年4月の入所に向け港南区や港北区などで認可保育所や小規模保育事業の整備を行っていきます。



## 環境 緑の取組

自民党

**問** 高い都市化の波にさらされるなかで緑の減少に歯止めをかけるために、平成21年に横浜みどりアップ計画を策定しました。計画の財源の一部として、超過課税の横浜みどり税を市民、企業の皆様からいただき様々な緑の取組を加速させてきました。横浜みどりアップ計画に取り組む意義について、あらためてうかがいます。

**答** 横浜みどりアップ計画の推進によって緑の取組は大幅に加速し、多くの緑が着実に保全・創出されてきたことで、大都市でありながら花や緑に身近に触れることができる、緑豊かなまちづくりが進んでいます。このようなことから、市民の皆様と連携を深め、緑の取組をしっかりと進めていくことは、大変意義があると考えています。



## 住まい 市営住宅の高齢化対策

公明党

**問** 市営住宅では、入居者による管理運営委員会が共用部分の管理や共益費の戸別徴収を行っていますが、担い手不足などで住民だけにゆだねることが困難な状況にあることを、我が党として以前から指摘してきました。住民の高齢化が進むなか、共益費の徴収方法について早期に見直し、併せて共用部分の管理についても負担軽減が図られるべきと考えますが、いかがですか。

**答** 住民の高齢化が進む市営住宅では、管理運営委員会が行う共益費の徴収や共用部分の管理が大きな負担になっています。そこで、個々の管理運営委員会の希望に応じて、市と指定管理者が連携して行えるよう、令和5年度の次期指定管理者の選定に向けて準備を進めています。

## 都市整備 魅力的な都市づくり

自民党

**問** 横浜が将来にわたり魅力的な都市であるためには、快適な暮らしや企業の経済活動を支える都心部・郊外部の都市づくりがこれまで以上に重要で、精力的に進めていくべき政策です。それが、結果として経済波及や税収増にもつながっていくと考えます。厳しい財政状況にあって多くの人や企業から選ばれる都市づくりを進めていく意気込みをうかがいます。

**答** 今後、本格的な人口減少社会を迎えることが見込まれるなか、人や企業が集う魅力的な都市づくりを進めることは、市の発展・成長のために大変重要な取組です。力強い経済成長をけん引する都心部、誰もが住みたい・住み続けたいと思える郊外部、更に、防災機能の強化や交通インフラの充実などに総合的に取り組むことにより、都市の魅力を高めていきます。

## 都市整備 これからの都市づくり

自民党

**問** 都市づくりは都市の将来像をしっかりと描き、取り組んでいくことが重要です。都市のビジョンの一つである都市計画マスタープラン(※1)は、現在、改定に向けた検討を進めていると聞いています。一方、更に上位の方針である整開保(※2)を平成29年度に改定しましたが、本来はこれら二つの都市計画の上位方針は一体的に議論をすべきと考えます。都市計画マスタープランの改定と併せて、整開保も見直すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 様々なまちづくりの方向性や取組を示す「マスタープラン」と、土地利用等の方針を定める「整開保」はどちらも都市計画法に基づく上位方針です。横浜の将来の魅力ある都市像を描きながら、それに基づくまちづくりの取組を、総合的に進めることが重要だと考えますので、今回、これら二つの都市計画の方針を同時に改定していきます。

## 用語解説

## 都市計画マスタープラン（文中の\_\_\_\_\_（※1）で表示）

都市計画法に定める、市町村の都市計画に関する基本的な方針のこと。整備保全に即して定める。

## 整備保全（文中の\_\_\_\_\_（※2）で表示）

「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」。都市計画法に定める、都市計画区域における都市計画の基本的な方向性のこと。市街化区域と市街化調整区域との区分の基準等を記載する。

## 都市整備

## 旧上瀬谷通信施設のまちづくりと国際園芸博覧会 公明党

問 いよいよ事業が本格的に前進しますが、上瀬谷が持つ多様な生態系や自然を守っていくこと、様々な環境保全への取組の実施を市民に正しく理解してもらうことが重要です。上瀬谷の自然を生かしたまちづくりの進め方についてうかがいます。

答 豊かな水や緑が融合する自然環境を有した現在の地形、広がりのある農地、隣接する市民の森との連続性など、立地の特性を生かした土地利用を進めています。具体的には、貴重な水辺空間である和泉川や既存樹木を生かした公園整備を進めるほか、新たな都市農業の展開など、自然と調和したまちづくりを進めています。

## 都市整備 都心臨海部の地域特性を生かしたまちづくり 立憲党

問 商業地域、特に商店街区域においては、駐車場附置義務条例等の見直しなどを図り、低層部における店舗の連続性を確保することが魅力のある横浜の旧市街地を形成する上で重要なと考えます。関内・関外地区等、都心臨海部における旧市街地の賑わいの維持に向けた課題認識についてうかがいます。

答 都心機能誘導条例などにより、建物の規制誘導を行っており、低層階は店舗等の立地を誘導し連続した賑わいの形成に取り組んでいます。しかしながら、建物解体後に建築が行われない土地や、建物1階の駐車場出入口の設置などによって低層部の店舗等の街並みが途切れることもあり、賑わいの連続性が損なわれることもあると認識をしています。



## 教育 中学校給食 立憲党

問 選択制デリバリー型給食から全員喫食の実施に向けてかじを切っている自治体が増えています。こうした全国的な動きに遅れることなく、全員喫食の中学校給食の実現に向けた検討を着実に進めていくべきだと思いますが、その意気込みについてうかがいます。

答 市の財政状況のほか、学校給食を実施する意義、実施方式の検証結果、今後実施するアンケート調査など、様々な要因を総合的に勘案したうえで市会の皆様とも議論を重ねながら、次期中期4か年計画の議論の中で、最終的な方針を決定したいと考えています。できる限り早期に実現するという強い決意を持って、全庁を挙げて取り組んでいきます。

## 令和4年第3回市会定例会の日程

日程は市会ホームページをご確認ください。 検索



## 議案に対する各会派の賛否一覧

## 令和4年第2回市会定例会

	議案名	自(35)	立(19)	公(16)	共(9)	民(3)	無(2)	ネ(1)	議決結果
条例の改正	●職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ●退職年金及び退職一時金に関する条例及び消防団員等公務災害等補償条例の一部改正 ●市税条例の一部改正 ●地方税法第314条の7第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部改正 ●交通事業の設置等に関する条例の一部改正	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
	●手数料条例の一部改正	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
	●スポーツ施設条例等の一部改正	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
市長提出議案	●上大岡第610号線等市道路線の認定及び廃止 ●環状3号線(杉田港南台地区)電線共同溝PF1事業契約の締結 ●戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業契約の変更	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
	●市の持続的な発展に向けた財政ビジョンの策定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	可決
	●マスクの取得(追認)(第9号・第14号) ●ガウン及びフェイスシールドの取得(追認) ●個人防護具セット及びガウンの取得(追認) ●マスク及びガウンの取得(追認)(第13号・第15号) ●マスク等の取得(追認)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	追認
予算正	●抗原検査キットの取得(追認)(第10号・第17~19号)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	追認
	●令和4年度一般会計補正予算(第1号)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	可決
	●人事委員会委員の選任	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	同意
人事議案	●教育委員会委員の任命	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	同意
	●監査委員の選任	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	同意

## 令和4年第1回市会臨時会

議案提出者	予算正	●令和4年度一般会計補正予算(第2号)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	可決
-------	-----	---------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------------	-----------------------	----

## 会派別議員一覧(令和4年6月21日現在)

## 自由民主党横浜市会議員団・無所属の会(自)35人

- ・青木 亮祐
- ・東 みちよ
- ・伊波俊之助
- ・磯部 圭太
- ・大桑 正貴
- ・梶村 充
- ・鴨志田啓介
- ・川口 広
- ・草間 剛
- ・黒川 勝
- ・小松 範昭
- ・奥石 且子
- ・佐藤 茂
- ・佐藤 祐文
- ・斎藤 達也
- ・鈴木 太郎
- ・瀬之間 康浩
- ・酒井 誠
- ・清水 富雄
- ・渋谷 健
- ・鈴木 太郎
- ・福地 茂
- ・高橋のりみ
- ・長谷川琢磨
- ・山下 正人
- ・山田 一誠
- ・伏見 幸枝
- ・藤代 哲夫
- ・松本 研
- ・横山 勇太朗
- ・渡邊 忠則
- ・山本たかし
- ・遊佐 大輔
- ・横山 正人

## 立憲民主党横浜市会議員団(立)19人

- ・有村 俊彦
- ・大岩真善和
- ・大野トモイ
- ・大山しょうじ
- ・荻原 隆宏
- ・梶尾 明
- ・今野 典人
- ・佐久間 衛
- ・田中 ゆき
- ・中山 大輔
- ・長谷川えつこ
- ・花上喜代志
- ・ふじい芳明
- ・藤崎浩太郎
- ・麓 理恵
- ・望月 高徳
- ・森ひろたか
- ・谷田部孝一
- ・山浦 英太

## 公明党横浜市会議員団(公)16人

- ・安西 英俊
- ・尾崎 太
- ・加藤 広人
- ・木内 秀一
- ・行田 朝仁
- ・久保 和弘
- ・源波 正保
- ・齊藤 伸一
- ・斎藤 真二
- ・高橋 正治
- ・竹内 康洋
- ・竹野内 猛
- ・中島 光徳
- ・仁田 昌寿
- ・福島 直子
- ・望月 康弘

## 日本共産党横浜市会議員団(共)9人

- ・荒木由美子
- ・岩崎ひろし
- ・宇佐美さやか
- ・大貫 憲夫
- ・河治 民夫
- ・北谷 まり
- ・白井 正子
- ・古谷 靖彦
- ・みわ智恵美

## 民主フォーラム横浜市会議員団(民)3人

- ・こがゆ康弘
- ・坂本 勝司
- ・二井くみよ

## 無所属クラブ(無)2人

- ・井上さくら
- ・豊田 有希

## 神奈川ネットワーク運動(ネ)

- ・平田いくよ

## 議会通信

点字版・CD版・デイジー版を発行しています

郵送を希望される方は、問合せ先までご連絡ください。音声データは市会ホームページにも掲載しています。

## 問合せ 議会局秘書広報課

045(671)3040 045(681)7388

gi-kouhou@city.yokohama.jp



**常任委員会**

執行機関の仕事について、8つの委員会がそれぞれ所管する局ごとに審査します。

**政策・総務・財政**委員会  
11人

重要政策の立案・調整、市政運営の基本方針、男女共同参画、基地対策、横浜市立大学、行政改革、危機管理、財務、デジタル化の推進などの仕事について審査します。

**国際・経済・港湾**委員会  
11人

国際政策、企業の誘致、中小企業の経営支援、雇用・就業対策、消費生活、港湾施設の整備、港の振興などの仕事について審査します。

**市民・文化観光・消防**委員会  
11人(欠員1)

情報公開、人権施策、市民協働、区政支援、広聴、スポーツ振興、文化振興、観光交流、コンベンション、火災予防、防犯対策、救急、消防などの仕事について審査します。

**こども青少年・教育**委員会  
11人

青少年育成、保育所整備、児童福祉、学校教育、生涯学習などの仕事について審査します。

**健康福祉・医療**委員会  
11人

地域福祉、障害者福祉、高齢者福祉、健康増進、疾病予防、食品衛生、感染症対策、医療政策、地域医療、市立病院の経営などの仕事について審査します。

**温暖化対策・環境創造・資源循環**委員会  
10人

地球温暖化対策、環境影響評価、農業振興、公園・下水道の整備、ごみの減量化・資源化などの仕事について審査します。

**建築・都市整備・道路**委員会  
11人

都市計画の策定、住宅政策の調整、建築物の確認、開発の許可、総合交通計画、駐車場対策、市街地開発事業、道路や橋りょうの整備、河川の整備、交通安全対策、放置自転車対策などの仕事について審査します。

**水道・交通**委員会  
10人

水源の確保、水質対策、配水施設の管理、水道施設の整備、市営バス路線の整備・運行管理、市営地下鉄の建設・運行管理などの仕事について審査します。

**特別委員会**委員会  
1人

市政の特定の問題に関する調査・研究を行い、委員間の意見交換や事例視察、参考人意見聴取などから調査・研究結果を議長に報告します。

大都市行財政制度  
特別委員会  
(13人)(欠員1)基礎対策  
特別委員会(12人)減災対策推進  
特別委員会(12人)新たな都市活力推進  
特別委員会(12人)健康づくり・  
スポーツ推進  
特別委員会(12人)郊外部再生・活性化  
特別委員会(12人)デジタル化推進  
特別委員会(13人)**市会運営委員会**

16人

定例会の日程や議会の運営方法を決定するとともに、市会に関する条例等の議案や、請願・陳情などを審査します。

○黒川 勝 (自)	渡邊 忠則 (自)
○有村 俊彦 (立)	大岩 真善和 (立)
○安西 英俊 (公)	大野 トモイ (立)
○東 みちよ (自)	東 隆宏 (立)
○尾崎 太 (公)	鈴木 太郎 (立)
△大桑 正貴 (自)	有村 俊彦 (立)
△川口 広 (自)	北谷 まり (共)
△長谷川 琢磨 (自)	白井 正子 (共)
△福地 茂 (自)	古谷 靖彦 (共)

監査委員(2人)	神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員(7人)
松本 研 (自)	磯部 圭太 (自)
今野 典人 (立)	伏見 幸枝 (立)
木内 秀一 (公)	梶尾 明 (立)
古谷 靖彦 (共)	佐久間 行 (立)
佐久間 衡 (立)	花上 喜代志 (立)
花上 喜代志 (立)	竹内 康洋 (立)
竹内 康洋 (立)	藤崎 浩太郎 (立)
福島 直子 (中)	安西 英俊 (公)
井上 さくら (無)	望月 康弘 (公)

横浜市会Facebook

横浜市会 FB



横浜市会Twitter

横浜市会 ツイッター

